

916年から1125年まで、現在のロシア沿海州からモンゴル高原にまたがる広大な国がありました。その国は遼といひ、契丹という騎馬遊牧民族が建てました。遼には契丹のほかに漢族をはじめさまざまな民族が暮らしていました。そのため、遼ではとても多彩な文化が栄えました。本展では、日本のさまざまな博物館・美術館が所蔵する遼の金工品を一室に集め、金属成分の化学分析やX線CTスキャンによる最新の科学調査の成果もあわせて紹介します。唐王朝（618年-907年）や6~8世紀に中央アジアとモンゴル高原で栄えた突厥の影響を受けながらも、独自の個性をもつ遼文化の実像に金工品から迫ります。



目には見えない

秘密の世界へようこそ——



平安貴族も憧れた？
金色の花模様
の帯金具

天を舞う龍の姿が中央に

鍍金雲龍文飾金具

遼・10-12世紀 京都国立博物館蔵

花文帯金具

渤海か・9世紀 石川県埋蔵文化財センター保管



展示品のうち、重要文化財 鍍金花鳥文銀製八曲長杯(白鶴美術館蔵)は5月26日[火]~6月21日[日]に、鍍金花鳥文木瓜形小銀盤(白鶴美術館蔵)は6月23日[火]~7月20日[月・祝]に展示します。



関連イベント

【ミュージアムトーク】

日時：6月2日(火) 15:00~
※30分程度

場所：九州国立博物館 4階
文化交流展示室 J室 (旧第9室)

講師：川村佳男 (当館文化交流展室長)

聴講料：無料 (ただし文化交流展の観覧料が必要です)

【きゅーはく とっておき講座】

丸わかり! 科学の眼でみる遼の金工品

日時：6月13日(土) 13:30~15:30

場所：九州国立博物館 1階 ミュージアムホール

講師：鈴木 舞 (九州大学大学院人文科学研究科 考古学講座 准教授)

飯塚義之 (台湾・中央研究院地球科学研究所 研究技師)

飯塚義之 (東北大学大学院文学研究科 考古学専攻 教授)

司会：川村佳男

定員：270名 ※申込不要、先着順

聴講料：無料

遼に大きな影響を与えた唐の銀器

重要文化財 鍍金花鳥文銀製八曲長杯

唐・7-8世紀 白鶴美術館蔵

【展示期間：5月26日~6月21日】



九州国立博物館

《太宰府天満宮横》

最寄り駅：西鉄太宰府駅から徒歩約10分

■最寄り駅へのアクセス

【西鉄電車】西鉄福岡(天神)駅から西鉄天神大牟田線で西鉄二日市駅乗り換え、西鉄太宰府線へ

西鉄太宰府駅下車※特急/急行料金不要

【JR】JR二日市駅から西鉄二日市駅(徒歩約12分、バス約6分)、西鉄二日市駅から西鉄太宰府線利用

【西鉄バス】博多バスターミナル(1階11番のりば太宰府行き)から西鉄太宰府駅下車(約40分)

■車【九州自動車道】太宰府ICから約15分・筑紫野ICから約20分

【タクシー利用】JR二日市駅から約15分・福岡空港から約30分

駐車場(有料)には限りがございますので、あらかじめご了承ください。

交通案内



※身障者用駐車場はどちらの入口からでも入れます